

開催日・場所	令和2年11月4日(水) 賀茂会館	参加者数	一般参加者32人 地域担当職員5人
--------	-------------------	------	-------------------

項目名	内容	地区・場所	備考	担当	回答
1 デマンド交通	<p>県道山下飾東線沿線の各町の高齢者の足がないということで、昨年度、これらの町にデマンドバスの運行又はタクシー券の無料(格安)配布について要望しました。その際、「賀茂地区は、地域主体型交通による移動支援が必要な地区と位置づけており、地域主体型交通では、デマンド型の対応も可能であるため、ご要望に応じ、事例等も含め説明させていただきます」と回答を戴いた。そこで、賀茂地区として、どんな方法が考えられるのか、他地区の事例等も含め、簡潔に説明を願いたい。</p>			ふるさと創造部	<p>地域主体型交通には、10月から試験運行が始まった「宇仁ふれあいバス」のように、定時定路線を走る場合と、事前に予約をとり、出発点から各利用者を回り、終着点に結ぶルートを走るデマンド型があります。他地区では神戸市北区の「淡河町ゾーンバス」が挙げられます。デマンド型は予約を事前に受け付け、ルートを設定し、振り分けるコーディネーターと、運転手の確保が必須となります。地域主体型交通の導入については、事前に地区で移動に困っている人のアンケート調査など、市で導入にかかる手引きを作成しておりますので、ご相談ください。</p>
2 東剣坂町交差点の安全対策	<p>県道山下飾東線(372号)と市道剣坂野条線の交差点の安全対策について、早急なる道路整備と信号機の設置について請願をさせていただき、市議会でも採択されました。その後、何度かお聞きしていますが、進んでいないことに地区の住民は不安を募らせています。地区全体に周知を図るという観点からも、最新の進捗状況と今後の予定をお伺いしたい。</p>			都市整備部	<p>市道剣坂野条線においては、注意標識の増設、ベンガラ(紅色)アスファルト舗装等の可能な範囲での応急対策を実施いたしました。 また、加東土木事務所においても交差点形状の見直し等、信号設置に向けての資料となる設計事務を進められています。 設計においては、地元との調整事項もありますので、改めて協議とご協力をお願いしたいと考えています。 来年度から市道の修繕については原則区長さんから要望を出してもらい当該年度に工事を実施し、道路改良については、地区で要望を取りまとめ優先順位をつけていただいで優先順位の上位のものから次年度に工事着手していくように変更したいと考えています。</p>

3	空き家、空き地対策	<p>近年、地域の空き家や空き地が増加してきており、将来を見通しても、増加の要素が大きい。空き家・空き地の管理については、所有者に適正な管理をしてもらうのが筋だが、空き家・空き地によっては、所有者不明で管理不全の所がある。例えば、植木が市道にはみ出して通行に支障をきたしていたり、ブロック塀に亀裂があったり、また、安全管理の面でも心配な空き家がある。中には通学路に隣接している場合もある。少子高齢化、人口減少など不安要素を抱える中、根本的な解決を図るにはどうすればいいか。</p>			<p>総務部 地域振興部</p>	<p>空き家については、加西市老朽危険空き家撤去事業補助金交付要綱を定め、老朽危険空き家と認定された空き家に対し、撤去にかかる費用の補助を行っております。ただし、補助要件として、自治会と所有者等の間で、撤去に関する同意が得られ、自治会が空き家の撤去を行い、跡地の有効活用又は適正管理を図るときに、自治会に対し補助を行うものです。</p> <p>空き地の樹木の繁茂等による管理不全につきましては、環境衛生の面から環境部門で相談を受けております。</p> <p>所有者の不明な空き家につきましては、空家特措法に基づき、所有者の調査を行い、適正管理を依頼しますが、相続手続きが行われていない場合は、所有者の特定に時間を要することとなります。</p> <p>空き家については、未然に防ぐ予防対策が重要であり、空き家バンクへの登録や、市内の建築士、税理士、司法書士、不動産事業者等の各分野の専門家が立ち上げた加西空き家対策専門家協議会(え〜がい加西)の活用を進めていきたいと考えています。</p>
4	集落排水の接続計画	<p>農業集落排水処理施設を公共下水道に接続する計画が進められているようですが、賀茂地域としてのメリットはどの様なことが有るのでしょうか。高い下水道料金は下がるのでしょうか。また計画の概要を説明願いたい。</p>			<p>生活環境部</p>	<p>下水道への流せる污水について、農業集落排水処理施設では、生活雑排水、し尿しか流せませんでした。公共下水道となることにより、事業場(工場等)の污水も流せることとなります。また、現存の施設を地域の防災備蓄倉庫等として活用していただけるものと考えています。(賀茂地域に限定したものではありません。)</p> <p>下水道料金の値下げについては、赤字決算が続いている現状の下水道事業の経営状況から判断して、困難と考えています。</p> <p>賀茂地域には、剣坂地区、福住地区、山下地区、横田地区、岸呂地区、中山・大柳地区の6つの農業集落排水処理施設があります。</p> <p>現在、剣坂地区及び福住地区の公共下水道への接続事業を進めており、令和元年度、2年度で接続工事の設計を行っております。工事は、国の補助金を活用しながら令和4年度から段階的に実施する予定です。</p> <p>また、残る4施設の公共下水道への接続につきましては、関係機関と調整を行い、統廃合実施計画を策定した後に、下水道事業の財政状態を考慮したうえで実施する予定です。</p>
5	高齢化と少子化・人口対策	<p>町によっては65歳以上の高齢者が全人口の50%近くになっている所もある。賀茂小学校の全生徒数は100人を切ってしまう。10年後、20年後先を考えると人口減は明らか。空き家だらけの恐ろしいことになる。今のうちに危機意識をもって対策を取って行かないと、取り返しのつかない事になるのではないか。</p>			<p>ふるさと創造部</p>	<p>本市では若者の移住・定住を促進するための支援や、子育て世代にとって住みよい環境づくりを進めており、加西市からの転出抑制、他市からの転入者の増加や、出生数の増加に繋がる施策を実施しています。市としての魅力アップに努め、ひとりでも多くの若者が市内に残り、また市外から移住していただけるよう取り組んでまいります。</p>

6	農業問題	<p>加西市の農業の現状をどう見ておられますか。また、将来の展望をどう捉えておられますか。加えて、加西市独自の農業支援策について、あれば説明をお願いしたい。さらに、鳥獣被害の現状と対策についてお聞きをしたい。</p>			地域振興部	<p>農業従事者の高齢化、後継者不足は全国的な課題となっております。その中で、加西市では集落単位での人農地プラン(R1年度 48プラン)の作成を進めております。農家アンケートを基に集落農業の現状を把握し、話し合い等を進め人・農地についての将来の方向性を定めていく計画を進めています。</p> <p>市として新規就農者の受入を積極的に進めており、市独自に補助と国の補助を活用し支援しております。</p> <p>鳥獣被害の現状につきましては、シカの捕獲頭数の減少等で県の公表から鑑みますと、シカの個体については減少傾向にあります。しかしながら猪については市全体の被害状況をみましても、深刻な影響を及ぼしているのが現状であります。対策と致しましては、従来の獣害防護柵の設置補助に加え、今年度から電気防護柵の設置補助を実施しております。今後も猟友会と連携を図り捕獲強化をするとともに、各集落において獣害対策の基本を周知しながら、被害現状を把握を行います。それに伴い、集落内の免許所持者を育成し、地域の皆様と捕獲の推進に取り組んでまいります。</p>
---	------	--	--	--	-------	--

当日出された
その他の意見

- ・農業集落排水を公共下水につなぐことについて
- ・公共下水道の流入量について
- ・加西市の農業の将来的な展望について
- ・賀茂地区の獣害被害と共済制度の見直しについて
- ・管理不全な空き家について
- ・空き家跡の更地の草について
- ・北条鉄道の線路まわりの雑草について
- ・建設予定の鶉野飛行場の地域活性化拠点施設の入館料の徴収について
- ・北条鉄道の法華口駅の行き違い設備について